

佐々木七佳さん(大浦小1年)が全国入賞

青少年読書感想文コンクール 県審査で2人が最優秀賞



賞状と盾を手に喜びの佐々木七佳さん

第五十回青少年読書感想文全国コンクール(全国学校図書館協議会など主催)で、「おおぼこ」(福音館書店)を読んだ大浦小一年の佐々木七佳さんがサントリー奨励賞を受賞しました。

校庭や通学路で見かける多年草のオオバコ。運動会前の草取り作業で、切っても踏んでも生えてくるこの草の生命力に、七佳さんは驚きました。やっかいな草ではあるが、茎と茎を絡ませて引つ張ると草相撲が楽しめることを知り、担任の七戸由香先生からは「血を止めることもできる」と教えられた七佳さん。雑草の秘めた力について「いやなくさだとおもっていたけど、やくにたつこともあるんだな」と、感想をつづりました。

受賞について七佳さんは「とてもうれしいです。これからもたくさん絵本を読んでいきたいです」と満面の笑みで話してくれました。

県コンクールで南小4年の佐々木はるかさんが最優秀賞

第五十回青少年読書感想文県コンクールで、山田南小4年の佐々木はるかさんの作品「命の重さを感じて」が最優秀賞に選ばれ、七佳さんと共に全国コンクールに推薦され入選しました。

はるかさんは、未熟児で生まれ、全盲になった本の主人公・井上美由紀さんの生きざまを、病氣と闘う自分の妹と照らし合わせ、生きることの大切さについて素直な言葉で表しました。

受賞について、はるかさんは「自信がなかったのでびっくりしました。本当にうれしいです」と笑みがこぼれていました。



佐々木はるかさん
(山田南小4年)

第64回全国教育美術展

大沢小の2人が特選に輝く

小中学生を対象とした全国規模の美術展で最も歴史の古い、第64回全国教育美術展(教育美術振興会主催)で、大沢小学校の鈴木優花さん(1年)と佐々木ひとみさん(5年)が特選に選ばれました。

鈴木さんの作品「くじらぐもにのって」は、鯨の

形をした雲に自分と友達に乗って空を散歩している絵を描いたもので、雲から見下ろす美しい山田の山や海が上手に表現されています。佐々木さんの作品「いざ、頂上へ」は、自然教室で鯨山登山をしている自分を描いたもので、急斜面をロープにしがみつきなながら歯を食いしばって登っている様子が力強く表現されています。

鈴木さんは「ハムスターやネコの絵を描くのが大好き。これからもたくさん動物を描いていきたいです」と笑顔。佐々木さんは「いつも人物の絵を描いていますが、これからはいろんな絵にも挑戦していきたいです」と喜びの声を寄せてくれました。

第27回全国海の子絵画展で 佐々木さんがNHK会長賞

第27回全国海の子絵画展(全漁連主催)で、佐々木ひとみさん=写真右=が特別賞のNHK会長賞に選ばれました。作品はカキの耳つり作業を描いたもので、色鮮やかなたくさんのカキと、ドリルでカキに穴を開けるおじさんの表情が生き生きと表現されています。全国入賞おめでとうございます。



特選に選ばれた鈴木優花さん(左)と佐々木ひとみさん